

※ 解答は、『解答らん』に書きましよう。

山本さんは、宮沢賢治の『煙文の多い料理店』を讀書ゆう便でしようかいすることにしました。次の文章は、物語のあらすじです。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

【あらすじ】

てつぼうをかついだ二人の紳士が山おくに狩りにやつてきた。ところが、そこは、鳥もけものも一匹もない山だった。やがて、あんまり山がものすごいので、連れていった二匹のりょう犬があわをふいて死んでしまった。

犬が死んで、何百万円も損をした。「などと言いながら、一人は宿へもどろうとしたが、帰り道がわからない。しかも、一人はおなががすいていて、あまり歩きたくなかった。

すると、二人の前になりつばな家があらわれた。この家のげん関には、西洋料理店「山猫軒」と書かれた札が出ていた。

入ってみると、ガラスの開き戸や、水色のペンキぬりの戸があつた。戸の上には、黄色の字で「当軒は注文の多い料理店ですから、どうかそこはごしようちください。」と書かれていた。それを見た二人は、ここはなかなかはやっている店だと思つた。

この店には、おくにたどりつくまでにたくさん戸があつた。そして、戸の一つ一つに、客へのお願いのようなものが書かれていた。

注文はずいぶん多いでしょうが、どうかいちいちこらえてください。」

髪をとかして、それからはき物のどろを落としてください。」

鉄砲と弾をここに置いてください。」

金属製のものを全て外してください。」

つぼの中のクリームを顔や手足にすつかりぬつてください。」

二人は、次から次へと出される要求にこたえて、身につけていた物を外したり、クリームをぬつたりした。この店のおくには、きつとえらい人が来ているにちがいない。二人は、そう思つていた。

次の戸には、

料理はもうすぐできます。

十五分とお待たせはいたしません。

すぐ食べられます。

早くあなたの頭にびんの中の香水をよくふりかけてください。」

と書かれてあつた。二人は香水を、頭にはちやばちやふりかけた。ところが、その香水は、どうも酔のようなにおいがした。続けて開けた戸には、

いろいろと注文が多くてたいけんうるさかつたでしょう。お気のどくでした。もうこれだけです。どうか、体中に、つぼの中の塩をよくもみこんでください。」

という言葉が……。二人は、ここで「注文」の本当の意味に気づいた。

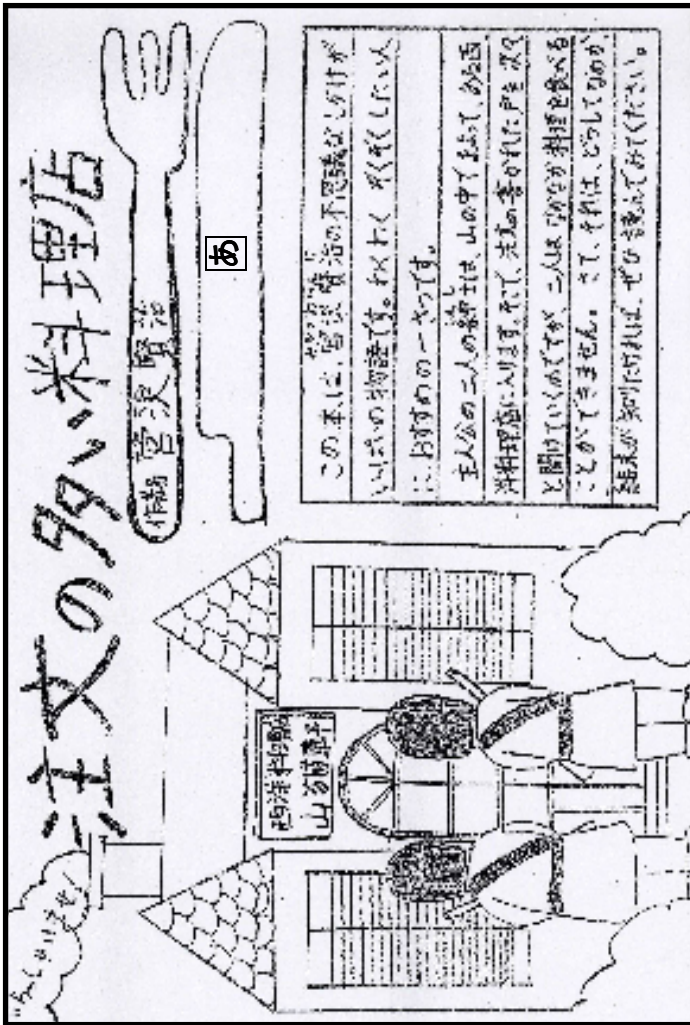
これまで、衣服をぬがせ、金属製のものを外させ、頭からかけさせられた香水が酢のようなにおいだったのは、すべて二人を食べるための下準備だったのだ。

西洋料理店「山猫軒」とは、来た客に西洋料理を（A）店」ではなく、来た客が西洋料理として（B）店」を意味していた。

引き返そうとしても戸は開かず、戸のかぎ穴からは目玉が二つ、こちらを見ている。おそろしさのあまり、二人は泣き出してしまい、顔は紙くずのようにくしゃくしゃになってしまった。

そのとき、後ろの戸を突きやぶって、死んだはずの二匹の犬があらわれ、先の戸に向かって突進していくと、開かなかつた戸はがたりと開き、戸の向こうは真つ暗やみになっていた。気がつくやうに店はずつかり消え、二人は寒空の中に立っていた。

一 山本さんは、みんなにこの本をわくわくしながら読んでもらいたいと考えました。そこで、結末を知らせないようにして、次の「読書ゆう便」を書きました。



読書ゆう便の「あ」の部分には、二人の紳士がまだこわがっていない場面の言葉が入ります。「あ」の部分に入る言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 頭からかけさせられた香水が酢のようなおいだった。
- イ 当軒は注文の多い料理店ですから、どうかそこはこしようください。
- ウ 戸のかぎ穴から目玉が二つ、こちらを見ている。
- エ 死んだはずの二匹の犬があらわれた。

二 【あらすじ】中の (A)、(B) に当てはまる言葉を、それぞれ五字で書きましょう。

シート 1 正答例

1 イ

2 A 食べさせる B 食べられる

3 店が来た客にだくさんの注文をする、客に対して店が多く注文を出す 等

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「スピーチをしよう」という学習に取り組んでいる歌田さんは、メモをもとに、次のスピーチをしました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【歌田さんのスピーチ】

わたしの家では、朝食か夕食で、毎日のようにみそ汁が出ます。みそ汁の具によく使われているのは、とうふとわかめです。

先日の全校集会で、丸山先生が「食料自給率」について話してくださいました。そのとき、みそやとうふなどの原料となる大豆の平成20年度の自給率が6パーセントと、とても低いことを知りました。日本で使っている大豆のうち、日本産は「割」にも満たず、ほとんどを外国から輸入していることになります。

そこで、農林水産省のホームページで調べてみると、わかめなどの海藻類も、平成20年度の自給率が71パーセントしかありませんでした。日本は海に囲まれているのに、わかめなどの三割近くを輸入しているというのは意外でした。ちなみに、魚や貝などの魚介類も、62パーセントにとどまっていました。

一方、日本の食たくに欠かせない米は、95パーセントと、とても高い数値でした。ところが、小麦になると14パーセントに落ち込みます。最近よく食べられているパンやうどんの原料の多くは、外国産だということになります。

この表を見てください。この表は、りんごと牛肉と魚介類の自給率の移り変わりを表しています。年度は、上から順に、お父さんの生まれた年度、平成元年度、わたしの生まれた年度、平成20年度となっています。

日本の自給率がだんだんと下がってきたことが分かります。ただ、牛肉と魚介類を見ると、ここ二十年くらいの間に、少し回復してきています。これは、最近よく聞かれる「地産地消」、つまり、地元でできたものを地元で食べよう、という運動などが影響しているのではないのでしょうか。

わたしは、これから先、食料自給率がどんどん高くなればよいなと思います。

1 次のアからケまでは、スピーチをするために、歌田さんがふせん紙（のりつきの小さな紙）に書いたメモです。

ア 大豆（みそやとうふなどの原料）…6%

イ 小麦（パンやうどんなどの原料）…14%

ウ 魚介類…62%

エ 海藻類…71%

オ 米…95%

カ 自給率の移り変わり

キ 「食料自給率」の話（丸山先生）

ク わが家のみそ汁の具

ケ 地産地消

歌田さんの話の流れにしたがって、メモをならべかえ、解答らんの（ ）にアからキまでの記号を書きましょう。（スピーチはウのメモから始まりケで終わります。）



2 【歌田さんのスピーチ】の——線部「この表を見てください」のところ、歌田さんは次の表を見せました。表の（ ）①、②に当てはまる言葉を書きましょう。

品目別食料自給率の移り変わり 単位％

	昭和 47 年度	平成 元年度	平成 11 年度	平成 20 年度
(①)	101	92	64	54
(②)	80	54	36	44
魚介類	106	78	55	62

〔農林水産省のHPより〕



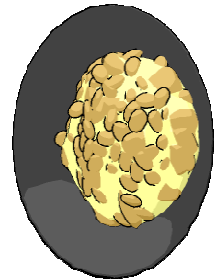
1 大豆に興味をもった歌田さんは、次の【資料】を読みました。この文章を読んであとの問いに答えましょう。

【資料】

大豆がわたしたちの食生活といかに深く関わっているかを、春子さんの生活から見てください。

春子さんの家では、朝、納豆を食べることが日課になっています。大豆を加工して作られる納豆には、体によいものが数多く含まれています。

その一つが食物せんいです。納豆に含まれる食物せんいは、ほうれんそうの二倍にもなります。また、納豆には、脳の働きを活発にしたり、老化を防止したりする働きがあります。さらに、ビタミンB群が多く含まれているため、血行をよくする働きもあります。



春子さんのおねえさんは、子どものころから納豆好きでした。（ ）、中学校の授業で納豆のよさを知ってからは、好んで食べるようになったそうです。

ところで、大豆は、今から約二千年前の弥生時代、中国から朝鮮半島を通じて日本にやってきたといわれています。

奈良時代には、日本と中国との交流が活発になり、大豆を加工してみそやしょうゆを作る方法が伝わりました。そして、鎌倉時代になると、各地で次々に戦が起こり、武士たちのエネルギー源となる大豆は、日本のあちこちで栽培されるようになりました。大豆がたくさん作られるにつれて、とうふや納豆など、みそやしょうゆ以外の加工品が広まってきました。

こうして、大豆は、わたしたちの食生活に欠かせないものとなりました。

1 文中の（ ）に入る言葉として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア そして イ しかし ウ だから エ また

【ページ】

2 【資料】を読んで学んだことを、歌田さんは次のようにまとめました。

【歌田さんのノート】

納豆の中に含まれているものには、例えば、次のような働きがあります。

- 脳の働きを活発にする。
- 老化を防ぐ。
- 血行をよくする。

納豆のもととなる大豆は、今から約二千年前に日本にやっできて、鎌倉時代に日本各地に広まったといわれています。

この文章を読んで、みそやしりょうゆ、とうふなど、わたしが毎日食べている食品には、大豆を加工してできたものがたくさんあることが分かりました。

【歌田さんのノート】の——線部「大豆を加工してできたもの」を、意味はそのままにして、短い言葉で表します。【資料】の言葉を参考にして大文字で書きましよう。

三 次のアからウまでの中から、【歌田さんのスピーチ】と【歌田さんのノート】のどちらにも書いていないものを一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア インタビューをして知ったこと
- イ 生活や体験に照らして考えたこと
- ウ 本やホームページで調べたこと

シート 2 解答らん

第 学年 組 番 名前

一

ク → () → () → () → () → () → () → () → () → ケ

2 ①

[Blank box for answer 2-1]

②

[Blank box for answer 2-2]

二

[Blank box for answer 2-1]

2

[Blank box for answer 2-2]

三

[Blank box for answer 3]

シート 2 正答例

一 1 ク → キ) → ケ) → (E) → む) → ホ) → イ) → わ) → ケ

2 ① りんご

② 牛肉

二 1 イ

2 大豆加工食品 ・大豆の加工品 等

三 ア

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

次の A、B の新聞記事は、同じ人物について書かれています。田中さんたちは、二つの記事を読み比べて、【ページ】のように話し合いました。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

A

三日後に宇和島市で開かれる全日本大学選抜相撲宇和島大会に、愛媛県内の大学から初めて松山大学二年生の山本広さん（仮名）が出場する。相撲を始めて一年あまりで全国の強敵にどむ。

山本さんは、「小さい力士が大きい力士をたおすのが楽しい。」と語る。身長一八〇センチ、体重八十キロと、全国大会に出場する選手としては小さな体格だ。その分、素早い動きで勝ちをねらう。

新居浜市出身で中学時代は陸上の選手。中学三年生のとき、初めて大相撲をテレビで見ると力士の運動能力の高さにおどろいた。特に、小がらな日馬富士関現、横綱、当時は安馬関の相撲に引きつけられた。

とはいえ、新居浜には相撲道場がなく、地元の高校時代はテレビを見て相撲界にあこがれる日々。大相撲の年間六場所はほぼ欠かさずチエックし、大阪場所にも足を運んだ。大学進学で松山に引越したことをきっかけに、「待つてました。」と道場の門をたたいた。

松山市の相撲道場で週二日、基本を中心に汗を流す。一年で体重は約十キロ増え、昨年十一月に西予市で開かれた乙亥大相撲では、自分より大きいアマチエ力士二人に勝利し、成長への自信を深めた。

道場の先生はげがをしなにか気づかいつつ、「新しい道を切り開くちよう戦」と背中をおす。山本さんは、「自分の力を試し、松山大に相撲部をつくる足がかりにしたい。」と真新しいゼッケンをまわしに付け、①金星をねらう。

【ペーシ】

B

なみだの理由が新せんだった。今年、三十回目をむかえた全日本大学選抜相撲宇和島大会。県内大学から初出場した松山大の小さな力士が初戦で寄り切られ、②士がついた。なみだを流したのは、強い相手とはいえ、敗戦のくやしきからだろう。そう考えていると返ってきたのは、「こんな僕へのかん声が聞こえた。力士として認めてもらえてうれしかった。」の言葉。負けてうれし泣きする選手に会ったのは初めてだった。

相撲にあこがれ、まったくの未経験から大学入学後、約一年のけいこでいどんだ初の公式戦。土俵入りの際は、地元の相撲ファンからはく手がわき、名前をよぶ応援が数度会場にひびいた。相撲ではありがちな光景かもしれないが、彼にとっては大きな意味があった。

けいこを積む相撲道場の先生から、大会前に聞いた言葉が思い出された。

四年で二勝を目指す。そういうスポーツの楽しみ方もあるでしょう。」

大会での生き生きとした動きやしゅう実した表情が、その言葉の説得力を何倍にもした。

③選手がスポーツに求めるものは、一つではないことを思い知らされた。今まで自分がたよりがらだつた「勝った」、「負けた」だけのものさしが小さく見えた。

話し合い

田中 AとBの文章は、同じ人物について書いているのに、まったく印象がちがいます。

書き方のちがいや工夫しているところをさがしましょう。

三木 二つの記事を比べると、(ア)の記事は、読み手を引きつける書き出しになっていると思います。

白石 私は、(イ)の記事の方が、「いつどこで、だれが、何をする」ということがはつきりと書かれていると思います。

青木 ぼくは、(ウ)の記事は、出来事だけでなく、おどろきや感動など、書き手の思いをたくさん書いていて、ずい筆(エッセイ)に近い文章だと感じました。

1 【話し合い】の()アからウに当てはまる記事として最もふさわしいものは、A、Bのどちらでしょうか。記号で書きましょう。

【ページ】

二 記事 A の——線部①「金星」、記事 B の——線部②「士がつく」は、それぞれ相撲がきつかけでできた言葉とされています。

1 それぞれの意味として最もふさわしいものを、次のアからオまでの中から一つずつ選んで、記号で書きましょう。

- ア 勝てないと思う相手に勝つこと
- イ 何度も勝ちを重ねること
- ウ 注目されること
- エ 負けること
- オ 休むこと

2 例を参考に、あとの□内の文字をならぶかえて、相撲がきつかけでできたと思われる言葉を完成させ、ひらがなで書きましょう。

例 す・り・と・う・ひ・も → ひとりずもら

う・ぎ・ど・わ・ひよ

三 記事 B の——線部③「選手がスポーツに求めるものは、一つではない」について、これまで書き手が考えていた「選手がスポーツに求めるもの」とは、どんなものですか。十字以内で書きましょう。

シート 3 解答らん		第 学年 組 番 名前	
一	ア <input type="text"/>	イ <input type="text"/>	ウ <input type="text"/>
二	1		
	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>	
	2 <input type="text"/>		
三	<input type="text"/>		

シート 3 正答例

一 ア B イ A ウ B

二 1 ① ア ② エ

2 どひよつぎわ

三 勝つか、負けるか 勝ち負け 勝敗 等

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

森田さんは、気になった新聞記事の内容を三百字から四百字くらいでまとめる学習に取り組んでいます。次のAからDの文章を読んで、あとの問いに答えましよう。

A

愛媛県内は今年に入つて、雨の少ない状態が続いています。特に東予地方では、ほとんどの観測地点で、四月の雨量がいつもの年を大きく下回っています。

四月二十五日には、約一週間ぶりに雨が降りましたが、雨不足の解消にはなっていません。四国中央市の銅山川にかかる三つのダムの貯水率は、一四・五パーセントと、二〇〇年以降で最低となり、一部で農作物にもえいきようがはじめています。



四国中央市のJ.A.宇摩によると、五月ごろ発芽するヤマノイモと、葉が出始めるサトイモは、成長が一週間ほどおけているといいます。担当者は、「二十五日の雨くらいでは足りない。まとまった雨がほしい。」と話しています。

気象庁は、世界的に、異常気象が発生する可能性が高いとしています。その場合、梅雨時期は雨量がいつもの年より多い一方、梅雨明けが早い傾向があるそうです。

※ 貯水率…ためられる水量に対し、どれだけ水がたまっているかを表した割合。

※ 傾向…全体としてある方向に向かうこと。

B

高松地方気象台は十一日、四国地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。いつもの年より六日早く、昨年より二十日早い梅雨明けです。

梅雨入りした五月二十九日ごろからの雨量は松山三八〇ミリ、新居浜三四九ミリ、宇和島二四七ミリなどとなっていて、東中予でやや多く、南予は少なかつたようです。

松山地方気象台によると、期間中の気温は「かなり高め」。松山の六月の月平均気温は、二三・五度で、一八九〇年の観測開始以降、四番目の暑さを記録しました。

十一日の最高気温は松山で二九・七度。ややくもりがちでしたが、ときおり降り注ぐ強い日ざしが「夏本番」を感じさせました。



C

日本列島は、十二日もきびしい暑さが続き、高知県四万十市で、気温四一・〇度の国内観測史上最高を記録しました。これまでの最高は、二〇〇七年八月の埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市の四十・九度でした。四万十市は、全国の観測地点で初めて、三日連続して四十度をこえました。

気象庁は、一八七五（明治八）年に当時の東京気象台で観測を開始し、現在は、全国九二七地点の気温を集計しています。十二日は、三十度以上の真夏日が七〇六地点で、今年の夏最多となり、三十五度以上の猛暑日は、二四三地点でした。

四万十市で国内最高気温を観測した地点は、四万十川上流の西土佐地区という愛媛県境に近いところでした。ここでは、十日に四〇・七度、十一日に四〇・四度を観測していました。

D

日本列島は、十六日も晴れて、きびしい残暑が続きました。三十五度以上の猛暑日は一二六地点にのぼり、十日連続で一〇〇地点を上回りました。三十度以上の真夏日は、観測地点の八割をこえ、この夏最多の七五四地点に達しました。

気象庁によると、十六日に最高気温を記録したのは、大阪府豊中市の大阪空港で三七・五度。十二日に国内観測史上最高の四一・〇度を記録した高知県四万十市は、三五・九度でした。

十七日も各地で猛暑日が予想されるとして、気象庁は「高温注意情報」を発表しました。また、関東甲信と北陸から九州は、二十一日ごろからの約一週間も、いつもの年よりかなり高い気温が予想されるとして、「異常天候早期警戒情報」も発表しました。

Ⅰ 森田さんは、AからDの文章に、次の見出しをつけました。（ ）に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、それぞれの文章の中から**四字以内**で選んで書きましよう。

- A 雨不足、（ ）にもえいきよう
- B 四国地方、早くも（ ）
- C （ ）市、国内最高気温
- D 七五四地点で（ ）

Ⅱ 森田さんは、AからDの文章に関して、次のような意見を書きました。文中の（ ）①から③に当てはまる記号を、AからDまでの中から一つずつ選んで書きましよう。

わたしは、天候に注目して、四月から八月までの新聞記事をまとめました。AからDの文章を読み返してみると、（①）や（②）に書かれている八月の異常な暑さについて、気象庁は、（③）の段階で、すでにその気配をつかんでいたことが分かります。これからは、日本だけでなく、世界で起きている異常気象についても調べてみたいと思います。

【ページ】

三 Dの文章の「戒」の読み方が分からなかった森田さんは、漢和辞典で調べることにしました。読み方も部首も分からないとき、効率よく調べるための方法として、最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 部首さくいんのページを見て「戒」の漢字をさがす。
- イ 初めのページから、順にめくって「戒」の漢字をさがす。
- ウ 音訓さくいんのページを見て「ア・あ」から順に「戒」の漢字をさがす。
- エ 総画さくいんのページを見て、七画の漢字の中から「戒」の漢字をさがす。

一

A

--	--	--	--

B

--	--	--	--

C

--	--	--	--

D

--	--	--	--

二

①

--

②

--

③

--

三

--

一 A 農作物

B 梅雨明け

C 四万十

D 真夏日



二 ① C ② D ③ A

三 H

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

初めて知ったことを、「資料を使って伝えよう」という学習に取り組んでいる小学五年生の田中さんは、次のスピーチ原稿を作りました。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

【スピーチ原稿】

1	<p>みなさんは、北極と南極のどちらが寒いと思いますか。</p> <p>まず、この図 図1) を見てください。</p> <p>北極とよばれる地域は、ほとんどが海にうかんでいる氷の上にあります。</p>	
2	<p>次に、この図 図2) を見てください。</p> <p>南極は、このように平均二千四百五十メートルの厚い氷におおわれた大陸になっています。</p> <p>北極の氷の下にある海の水はこおっていないので、温度は0度より少し低いくらいです。だから、氷の上でもひどい寒さにはなりません。</p>	<p>図 1</p> 
3	<p>大陸の上に氷がいくえにもかぶさっている南極は、まるで高い山です。高い山は平地よりも気温が低く、しかも、海からはなれて内陸へ行くほど寒くなります。</p> <p>つまり、氷におおわれた大陸である南極は、海上にうかんだ氷の北極より寒いということになります。一年間の平均気温を比較すると、南極は北極よりも二十度ほど低いそうです。</p>	<p>図 2</p> 

1 田中さんは、小学四年生に対してスピーチをすることになり、グループ内で読む練習をしました。そのとき、林さんから次の助言を受けました。



聞いていて、四年生には必ずかしい言葉がいくつかありました。話す相手のことを考えて、必ずかしい言葉はなるべく使わないようにましよう。」

林さんの助言の——線部「四年生には必ずかしい言葉」が、最も多く使われているのはどこでしょうか。【スピーチ原稿】の1から3の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

2 次のアからエまでのスピーチの工夫のうち、【スピーチ原稿】で田中さんが取り入れていないものを一つ選んで、その記号を書きましよう。

- | | |
|---------------|----------------------|
| ア 資料を見せながら話す。 | イ 聞き手を引きつけるために問いかける。 |
| ウ 具体的な数字を入れる。 | エ 結論を先に述べ、あとから理由を言う。 |

【ページ】

三 次は、林さんが「お札」について調べた結果を記録したノートと、スピーチのために準備した資料カード)です。これらを読んで、下の問いに答えましょう。

【ノート】

日本のお札には、六けたの数字と二つのアルファベットを組み合わせたものがついている。このうち、アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえることがあるので、使わないことになっている。

【カード】

お札についている番号と記号の例)

A 1 2 3 4 5 6 B



問い

林さんは、小学六年生に対してスピーチをすることになり、上の【カード】を使い、【ノート】の内容について話します。

あなたなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて、スピーチの原稿を書きましょう。

条件)

- 「カード」、「アルファベット」の二つの言葉を両方使い、【ノート】の内容をもとにして書くこと。
- 二つ以上の文で、八十字以上、百字以内にとまとめて書くこと。

一 3

二 エ

三 例 1)

みなさん、このカードを見てください。二つのアルファベットと穴けたの数字が書かれています。これは、お札についているものです。数字とまちがえやすい「I」と「O」のアルファベットは、使わないだそうです。(100字)

例 2)

みなさんは、お札に使われている数字やアルファベットを知っていますか。それは、このカードのようになっています。アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえるといけないので、使われません。(80字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

校内新聞の学級しようかいを担当することになった大川さん、中川さん、小川さんは、学級で飼育しているメダカの記事を書くことにしました。次の文章は、三人が書いた記事の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

○ 五年一組では、二つの水そうでメダカを飼っています。水そうは、教室内の南側にあるたなの上と、教室前のろう下に置いています。 **大川**

○ メダカは、オスとメスの見分けがつきにくい生き物です。背びしに注目すると、オスかメスかが分かります。背びしがギザギザになっているのがオスで、そうなのがないのがメスです。 **中川**

○ 昔は、どこの川や池にもいたメダカですが、環境の変化や外来種の増加によつてメダカの数は激減しました。そして、一九九八年、環境庁（現、環境省）はメダカを絶滅危惧種に指定しました。 **小川**

一 石田さんは、三人の下書きを読んで次のようなコメントを書きました。文中の **A)**、**B)** に当てはまる言葉を書きましよう。

大川さんは「水そうのある場所」、中川さんは「オスとメスの (A)」、小川さんは「メダカの数が減っていること」と、それぞれがちがう観点で書いているところがよいと思います。気になる点は、(B)さんの文章にむずかしい言葉がいくつか使われている点です。校内新聞は低学年や中学年も読むので、むずかしい言葉をやさしい言葉に直したり、説明をつけ加えたりするとよいと思います。

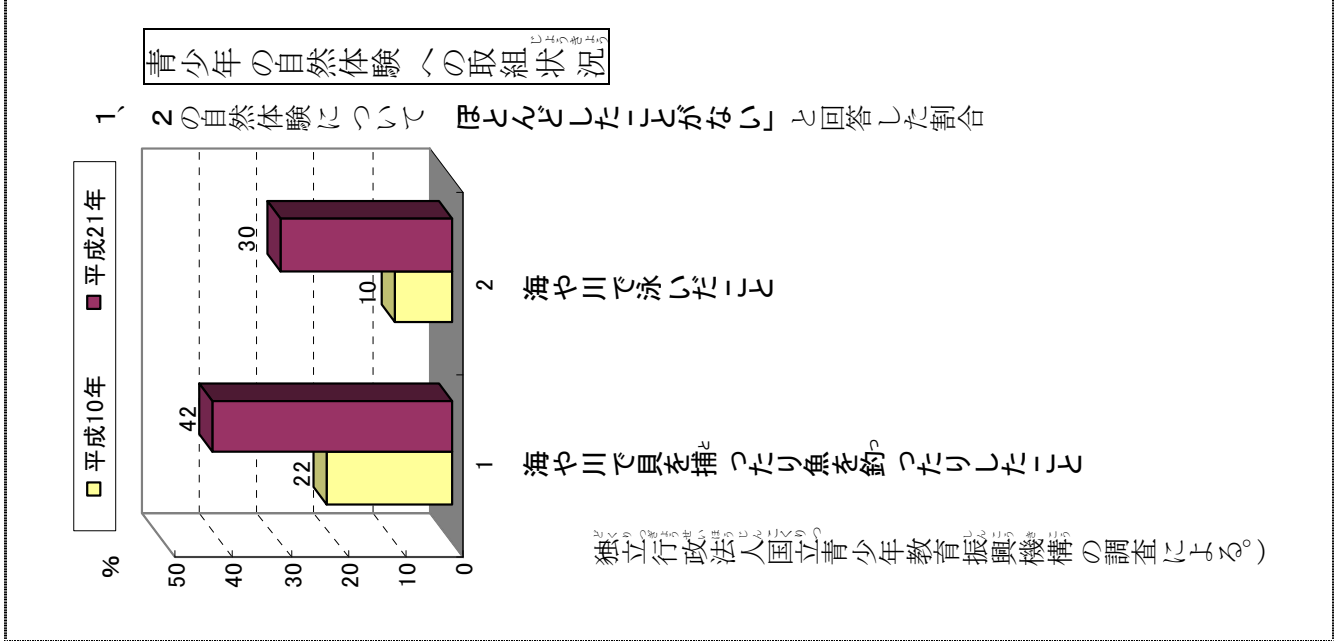
二 石田さんのコメントのよいところとして最もふさわしいものを、次の **A)** から **E)** までの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- A)** 三人全員を取り上げるのではなく、一人だけに注目しているところ
- B)** それぞれの人に対して、よい点と見直してもらいたい点を述べているところ
- C)** 自分の知っていることを数多く示し、記事の内容を深めているところ
- D)** 気になる点を述べるだけでなく、アドバイスもしているところ

【レポート】

- 三 石田さんは、これまで自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがありませんでした。そこで、同じクラスの15人から聞き取り調査を行ったところ、
- 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがある 2人
 - 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがない 13人
- という結果になりました。

また、石田さんは、ホームページで次のグラフを見つけました。



一つの調査結果から、石田さんは、次の意見を持ちました。

【石田さんの意見】

わたしたちの地域には、池や川がたくさんある。ところが、クラスの友だちの中で、自然のメダカを見たことがある人はわずかしかない。また、グラフを見ると、海や川で遊んだ経験がない青少年が、十年ほどで大はばに増えていることが分かる。

このことから、日本の自然環境は年々悪くなっている、そのために、人々が自然からはなれているのではないかと考える。

【石田さんの意見】を読んで、あなたが考えたり、思ったりしたことを、三つ以上の文で、八十字以上、百字以内にまとめて書きましよう。

一 A 見分け方 B 小川

二 E

三 例 1)

ほくは、この意見に賛成できません。なぜなら、若者の自然体験が減ってきたのは、自然環境の問題よりも、パソコンやゲームなどの影響が大きいのと思うからです。実際、ぼくたちは、外より家の中でよく遊んでいます。(100字)

例 2)

ほくは、この意見に賛成です。なぜなら、ぼくたちの住む地域の川や池は、とても汚れており、生き物の姿もほとんどなく、そこで遊ぶ気持ちになれないからです。まず、自然を元にもどすことが必要だと思いました。(99字)

例 3)

わたしの住んでいる地域も池や川はたくさんあります。でも、危険だからといって遊ばせてはくれません。子どもの自然体験が少ないのは、危ないことをさせようとしていない大人たちに責任があるのではないのでしょうか。(99字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

次は、ある物語の一部です。これを読んで、あとの問いに答えましよう。

【物語】

《場面の説明》

今治市に住む治は、小学六年生。九月末、祖父の還暦 六十歳の誕生日を祝うため、京子の家族が五年ぶりに治の家へやってきました。京子は、治より一つ年上のいとこだった。

その日の夕方、治と治の母、七海、そして京子の三人は、家の近くの小さな店に向かった。その店が近づいた。

せ、ん、ご、ん、き。せんごんきって書いてある。」

京子は、不思議そうな顔で、店のサイズとは不釣り合いな大きさの看板の文字を読み上げた。

くすんだあずき色をした看板は、雨風にさらされる前は、きつとあざやかな赤だったにちがいない。

京子ちゃんは、せんごんき食べたことあるかい？」

京子の横を歩く七海がたずねた。

ないわ。だって、せんごんきって、初めて聞いた言葉だし、こんな変わった名前の食べ物があったんだ。」

東京では、どんなふうにいるじやろね。」

前に行く治が、ふり返った。

からあげ、に決まるとる。」

後ろ向きに歩きながら、治は七海の足もとに視線を落とし、早口に言った。

えっ、からあげのことなの？」

突然、大きくなった京子の声に、治は顔を上げた。

朝、東京を発った京子たちが治の家に着いてから、小一時間が経っていた。治は、このとき初めて、近くから京子の顔を見た。昼間の熱気をどこかへ連れ去った夕風が、京子の長い後ろ髪を一、二度、軽く持ち上げた。

わたし、からあげ、大好きなんだ。おばさん。」

七海に向かって話す京子の横顔は、やはり、治の記憶にある京子とは別人だった。治は、あわてて向き直り、歩を速めた。

せんごんきは、今治のソウルフードじゃけんね。」

ソウルフード？……また、わかんない言葉だ。」

ソウルは、なんじやろね、ふるさととか、その土地のつてことで、フードは、食べ物。」

じゃあ、せんごんきは、昔、今治にしかなかったつてこと？」

はつきりはわからんけど、この辺の人は、せんごんきは今治で生まれたと思つとるよ。」

すでに店の前に立ち、店主の「ひらつしやい。今日も暑かつたね。」の声にむかえられながらも、治の耳は、後ろの声ばかりをひろっていた。



【スピーチ】

スピーチの話題をさがしていた宮本さんは、物語を読み、松山市にも同じような店があることを思い出しました。そして、その店の主人にインタビューをしました。

次は、宮本さんが取ったメモです。

メモ

- 一日にどれくらい売れるのか？
→ 多い日は、百個以上売れる。ふだんは、八十個くらい。
- どの時間帯がよく売れるのか？
→ 夕方。高校生や大学生が学校帰りに買ってくれるから。
- 小学生も、買いに来るのか？
→ 近所の子がよく来る。でも、高校生ほど多くはない。
- この店では、せんざんきという名前は使わないのか。
→ うちの店では、昔から、からあげと呼んでいるが、松山にも、せんざんきという名前を使っている店がある。
- どうして、せんざんきというのか？
→ ある人から、今治の料理店があまった骨つきのとりに肉を、しょうゆ味のたれをつけてあげたのが始まりで、骨をしゃぶる食べ物ということから、せんざんきと呼ぶようになった。骨をしゃぶることとせんざんきという呼び方が、どのようにつながっているのかは分からない。」と聞いた。他にもいろいろな説があるようだ。

- 1 宮本さんは、次の写真を見せてから、下の□のように話し始めることにしました。
() ①、②に当てはまる言葉を書きましょう。



みなさんは、この写真の食べ物のことを (①) と呼びますが、それとも (②) と呼びますか。

- 2 【物語】と【メモ】の内容を参考にして、学級で一分間スピーチをすることとします。
次の条件に合わせて、あなたが話したいことを書きましょう。

条件

- 1の文に続ける形で書くこと。
- 1の文をのぞいて、八十字以上、百二十字以内で書くこと。
- 東京「今治」松山の言葉をすべて使って書くこと。

一 ① からあげ ② せんぞんき (順不同)

二 例 1)

東京ではからあげと呼ばれているこの食べ物を、今治の人はせんぞんきと呼ぶそうです。松山では、人によってからあげと呼んだり、せんぞんきと呼んだりするようです。ちなみに、西条に住むほくのおじさんは「ぞんき」と呼んでいます。(109字)

例 2)

東京ではからあげ、今治ではせんぞんきと呼ぶそうです。松山にもせんぞんきを使う店があるそうです。なぜそう呼ばれるようになったのかというと、今治の料理店で生まれた言葉という説がありますが、他にも説があり、はっきりとは分かりません。(114字)

※ 解答は、《解答らん》に書きましよう。

お気に入りの場所をしようかしよう」という学習に取り組んでいる安田さんは、近所の堀の中にある鳥居の記事が地域の広報紙にのっていることを知りました。

写真】 ア



イ



説明】

堀の外側にはコンクリートの近代的な建物が並び、路面電車と車の走行音が **A** けたたましい。お榎さんは、こんな科学技術文明とはえんのない小さな空間。時代は変わっても **B** 民の **C** 信心が息づいている。

言い伝えでは、お袖狸は約百五十年前、城山から堀端のエノキにすみつくようになった。その後、**D** 信の对象となり、商売はんじよう、病気回復などで利益があるとひょうばんに。一九一八（大正七）年には、産婦人科医の先生が、お袖狸の子を取り上げたとか。以来、安産の守り神としても有名になり、医院もはんじようしたという楽しい伝説も残る。

階段を下りると、エノキの大木の根元に小さな **E** ぼこらがある。タヌキの焼き物も静かにすわっている。息子のしゅうしよくが決まりますように……。」市役所を訪れたついでに、お参りに来た母親が手を合わせる。一日じゅう、線香のけむりが絶えることはない。ここでは、のんびりと時間が流れる。

松山市役所前のお堀の土手。赤い鳥居と **F** のぼりがにぎやかに立ち並ぶ。正式な呼び名を **大股榎大明神** という。まつっているのはタヌキ。昔から「お榎さん」や「お袖さん」の名前で親しまれている。

1 安田さんは、説明】の——線部 **A** から **F** の言葉について、【ページ】のとおり意味調べをしました。辞書を引く前に、安田さんは、五十音順に 1 ～ 6 の番号をつけました。

1 番目は、**A** けたたましい」になります。では、3 番目はどの言葉になりますか。最もふさわしいものを選んで、**B** から **F** までの記号を書きましよう。

【ページ】

順	記号	言葉	意味
1	A	けだたましい	とつぜん高い音や声をするようす。
	B	しよ民	世間いつばんの人々。
	C	信心	信じて疑わない気持ち。
	D	信こう	神仏などを信じてうやまうこと。
	E	ほこら	神をまつた小さなやしろ。
	F	のぼり	寺や神社などの目印となる細長い旗。

二 安田さんは 【ページ】 の写真と説明、そして、自分で取材した内容にもとづいて、次のしょうかい文を書きました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原稿】 ※ ①～⑤は、段落の番号を示す。

- ① この写真を見てください。路面電車と車が行きかう街中に、こんな小さな鳥居があるのを知っていますか。これは、「穴股榎大明神」といって、松山城の堀の中にあります。神木である「穴股榎」の巨木をまつてあります。
- ② この神木には、こんな言い伝えがあります。お袖狸さんが約百五十年前、お城のある山から堀端のエノキにすみつくようになりました。その後、信こうの対象となり、商売はんじよう、病氣回復などでご利益があるとひよばんになりました。
- ③ 一九一八（大正七）年に、松山市長を務めた、産婦人科医の先生が、お袖狸の子を取り上げて以来、安産の守り神としても有名になり、病院もはんじようしたという楽しい伝説が残っています。
- ④ でも、こんなこわい話もあります。以前、成長したエノキを移転させようとして枝を切った男がなくなりました。それ以来、「この木を切るとたたりがある。」と言い伝えられています。そのため、成長した木の一部分を切るときにも、「報告祭」を開き、作業の無事をいのるのだそうです。
- ⑤ これから暑い季節をむかえます。鳥居をくぐれば、そこは別世界です。みなさんも一度、足を運んでみてください。



1 【発表原稿】の中に、安田さんが取材した内容を中心に書いている段落が一つあります。①から⑤までの中から選んで、その番号を書きましょう。

2 【発表原稿】の——線部「この写真」としてふさわしい写真は、【ページ】の【写真】ア、イのどちらですか。①段落の内容をもとに考えて、アまたはイの記号を書きましょう。

【ページ】

三 あなたの気に入りの場所を、友達にしょうかいすることとします。次の条件に合わせて書きましょう。

条件

- 八十字以上、百二十字以内で書くこと。
- なぜ気に入っているのかを書くこと。

シート 8 解答らん 第 学年 組 番 名前

一

二
1

2

三

← 二から書き出すこと。また、行を変えずに書くこと。

○																				

一 D

二 1 ④

2 イ

三 例 1)

ぼくのお気に入りの場所は、空港の横にある公園です。ニが気に入っている理由は、飛行機の出発や到着の様子がすぐ近くで見られるからです。よく晴れた日に、飛行機の形をした大きなすべり台の上で、乗客に向かって手を振るのは最高です。

112 字)

例 2)

わたしのお気に入りの場所は、学校の校庭にある大きなアカシヤの木の下です。なぜなら、暑い日にわたしたちにすずしさをもたらしてくれたり、温かく包み込んで安心感を与えてくれたりするからです。木かげでのおしゃべりも楽しいです。 110 字)